

cado

取扱説明書

Dehumidifier

ROOT 

7100

# 重要

このたびは、カドー除湿機「ROOT 7100」を  
お求めいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず本書および  
別冊の「安全上のご注意」をお読みください。  
本書はお読みになったあとも大切に保管してください。

## CLUB CADO ご愛用者登録のご案内

お買い上げ製品をご登録いただくと、製品に関する充実したサポートや  
会員限定のお得なセール情報などが届きます。  
ぜひこの機会にご登録ください。

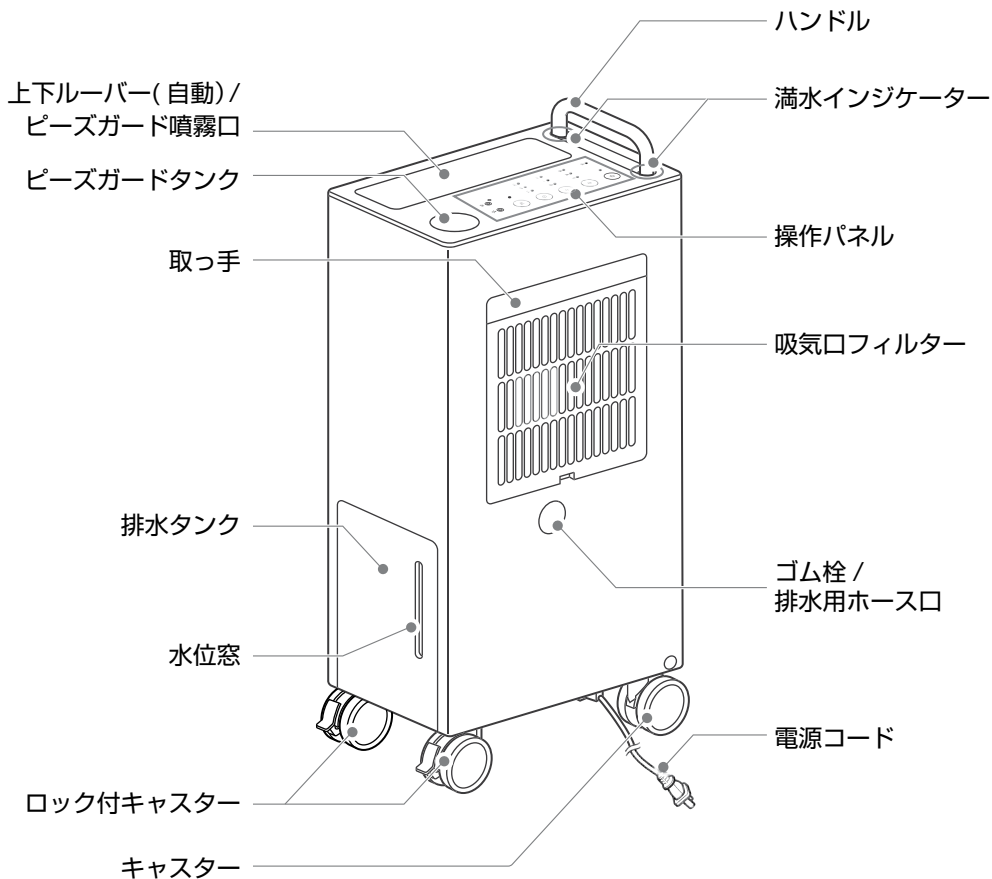
[cado.com](http://cado.com)

cado

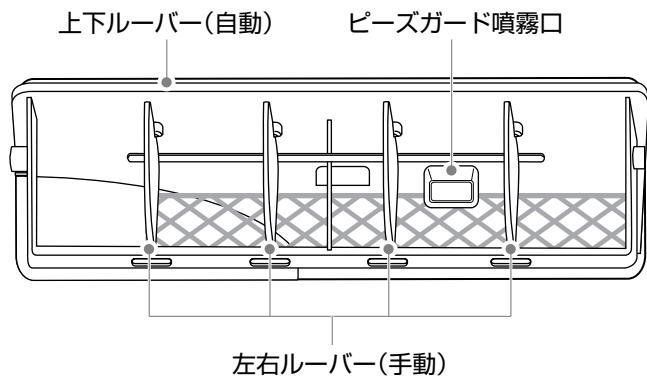
# 目次

各部の名前 .....	3	排水のめやす .....	13
上下ルーバー .....	4	移動する .....	14
本体背面(内部) .....	4	<b>排水のしかた .....</b>	<b>16</b>
<b>本体の組み立て .....</b>	<b>5</b>	排水タンクの水を捨てる .....	16
ピースガードを入れる .....	5	ホースを使って連続排水する .....	18
電源を接続する .....	6	<b>お手入れのしかた .....</b>	<b>20</b>
<b>設置について .....</b>	<b>7</b>	本体 / 排水タンク .....	20
<b>使いかた .....</b>	<b>8</b>	ピースガードタンク .....	23
操作パネル .....	8	吸気口フィルター .....	23
運転を開始する .....	8	排水用ホース口 / ホース .....	25
運転モード .....	9	長時間使わないとき .....	25
風量を調節する .....	10	<b>除湿機能について .....</b>	<b>26</b>
タイマー運転 .....	10	本機のしくみ .....	26
除菌・消臭する .....	11	使用時の室温について .....	27
除湿・衣類乾燥時に除菌・消臭する .....	11	霜取り機能 .....	27
ピースガード補充のめやす .....	11	<b>故障かな? .....</b>	<b>28</b>
風向を変える .....	12	<b>仕様 .....</b>	<b>32</b>
インジケータの明るさを調整する .....	13		
自動運転停止機能 .....	13		

# 各部の名前

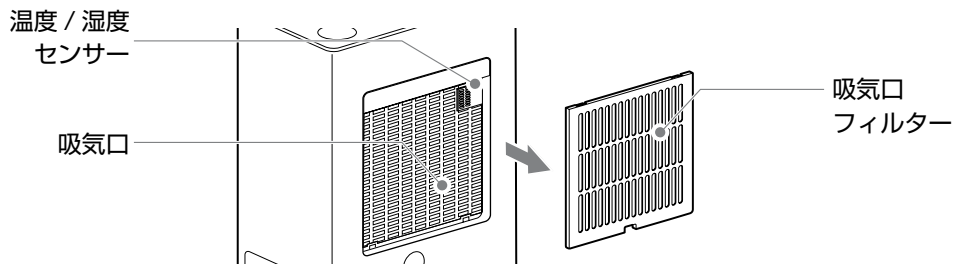


## 上下ルーバー



**!** 上下ルーバーは運転状態に連動して自動で開閉します。

## 本体背面 (内部)

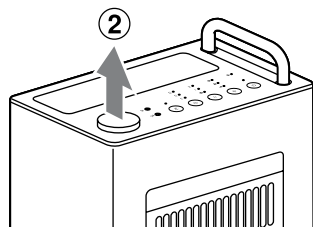
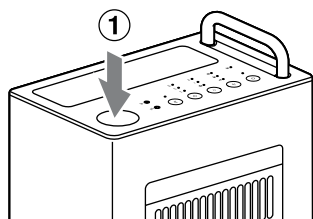


# 本体の組み立て

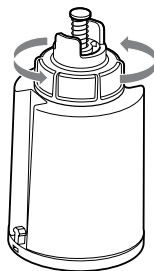
## ピースガードを入れる

別売りのピースガード(PG-L800)をご使用いただくことで除菌・消臭モードで運転することができます。

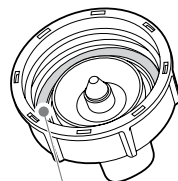
1. ピースガードタンクを取り出します。  
(①)の部分を指で押し込んで離すと、ピースガードタンクが出てきます。  
タンク周囲の凹部に指を引っ掛け、タンクを上を持ち上げます(②)。
2. タンクキャップを反時計回りに回し、はずします。



ピースガード  
タンク



タンク  
キャップ

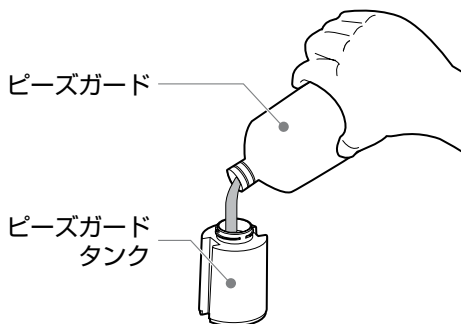


パッキン

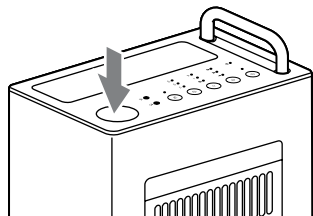


- タンクキャップのパッキンがはずれやすいので、落とさないようご注意ください。パッキンがはずれると液漏れの原因になります。必ず取り付けてください。
- タンクを持ち運ぶときは、タンクキャップが上になるように持ち運びます。

3. ピーズガードタンクにピースガードを入れます。



4. タンクキャップを閉め、ピースガードタンクを本体にカチッと音がするまで指で押し込みます。



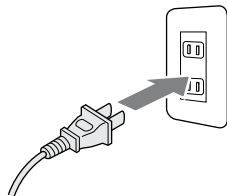
**!** ピーズガード以外の液剤は絶対に使用しないでください。液漏れや故障の原因になります。

**!** ピーズガードを使用しない場合でも、ピースガードタンクをセットしてご使用ください。異物などが入り、故障の原因になります。

## 電源を接続する

電源プラグをコンセントに差し込みます。

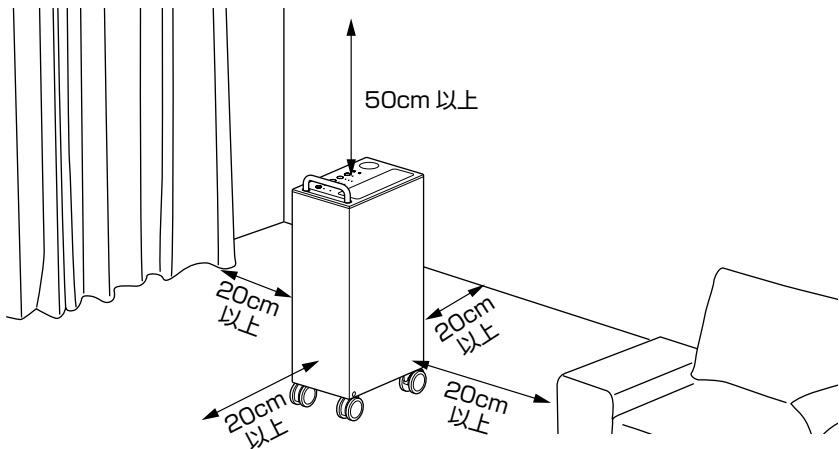
電源が正常に接続されると、すべてのインジケータが約 2 秒間点灯します。



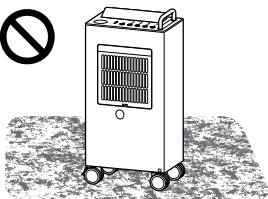
# 設置について



- 温度が約 5℃～35℃のお部屋で使用してください。
- ピーズガードの効果を発揮させるため、ピースガードが窓や壁に付着しないように、なるべく離れた場所に設置してください。

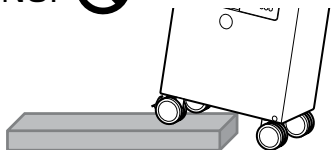


NO!



毛足の長いじゅうたんの上で使用しないでください。本体が傾いたり、ほこりなどがつまり、故障の原因になります。

NO!

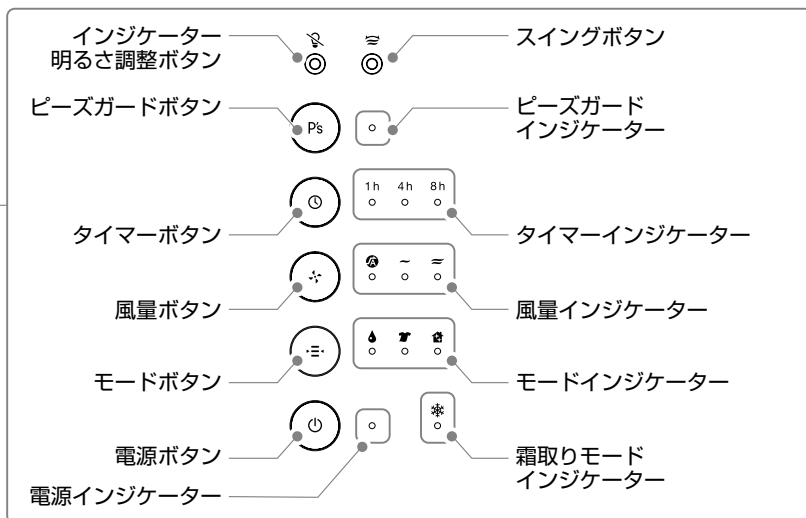
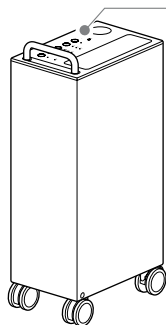


傾斜のある場所や不安定な場所、高い場所で使用しないでください。落下や転倒、誤動作の危険性があります。



# 使いかた

## 操作パネル



## 運転を開始する

電源ボタンを押します。⏻

インジケータが点灯し、上下ルーバーが開き、除湿モード💧で運転を開始します。

(起動時は除湿モードに設定されています。)

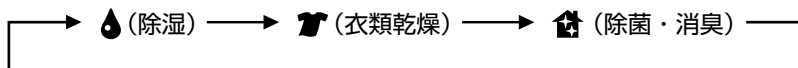
運転中に電源ボタンを押すとインジケータが消灯、上下ルーバーが閉じ、運転が停止します。






本体への負担を避けるため、電源プラグをコンセントに差し込んだ直後、または除湿モード、衣類乾燥モードを停止した直後から約3分間は、送風運転となります。


## 運転モード

運転中にモードボタンを押します。▶◀  
モード(インジケーター)は下記の順に切り替わります。



### 運転モードについて

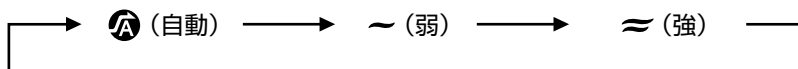
 除湿	除湿運転を行います。 通常はこのモードで使用します。 風量が「自動」の場合、適度な湿度になると、コンプレッサー(圧縮機)が停止し、送風運転に切り替わります。
 衣類乾燥	除湿運転を行いながら、衣類を乾燥させる時に使用します。風量が「自動」の場合、運転開始から約5時間が経過すると、コンプレッサー(圧縮機)が停止し、送風運転に切り替わります。 上下ルーバーと衣類の間は、20cm以上離してください。
 除菌・消臭	ピーズガードによる除菌・消臭運転を行います。 (このモードに除湿機能はありません。)

 本体への負担を避けるため、除湿モード、衣類乾燥モードで運転中に、周囲の温度が約5℃以下または約35℃以上のときは、コンプレッサー(圧縮機)が停止し、送風運転となります。

## 風量を調節する

運転中に風量ボタンを押します。✱

風量(インジケーター)は下記の順に切り替わります。



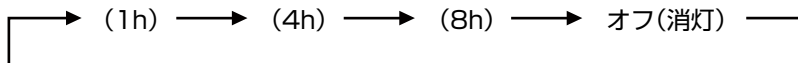
- 自動 **A** を選ぶと、運転中は各モードに最適な風量に自動的に切り替わります。(コンプレッサー(圧縮機)の運転/停止も自動で切り替わります。)お好みで風量を変えたい場合は、弱 **~** または強 **≈** を選んでください。
- 連続して除湿運転を行いたい場合は、「除湿モード」風量弱 **~** または強 **≈** を選んでください。ただし、12時間をこえる連続運転はできません。(自動運転停止機能⇒ p.13)

## タイマー運転


運転中にタイマーボタン **⌚** を押します。

指定した時間が経過すると自動で電源オフします。

タイマー(インジケーター)は下記の順に切り替わります。



## 除菌・消臭する

モードボタン **三** を押し、除菌・消臭モード  を選びます。

除菌・消臭モードインジケータおよびピースガードインジケータが点灯し、ピースガードを噴霧しながら送風運転を行います。



- このモードに除湿機能はありません。
- 除菌・消臭モードのときは、ピースガードボタン **P's** を押ししてもオフにできません。

## 除湿・衣類乾燥時に除菌・消臭する

除湿モード、衣類乾燥モードで運転中にピースガードボタン **P's** を押します。

ピースガードインジケータが点灯し、ピースガードを噴霧しながら除湿運転を行います。

もう一度ピースガードボタンを押すと、ピースガードインジケータが消灯し、ピースガードの噴霧を停止します。

## ピースガード補充のめやす

ピースガード噴霧中にピースガードが無くなると、ピースガードインジケータが点滅します。  
「ピースガードを入れる」⇒ p.5 を参照してピースガードを補充してください。



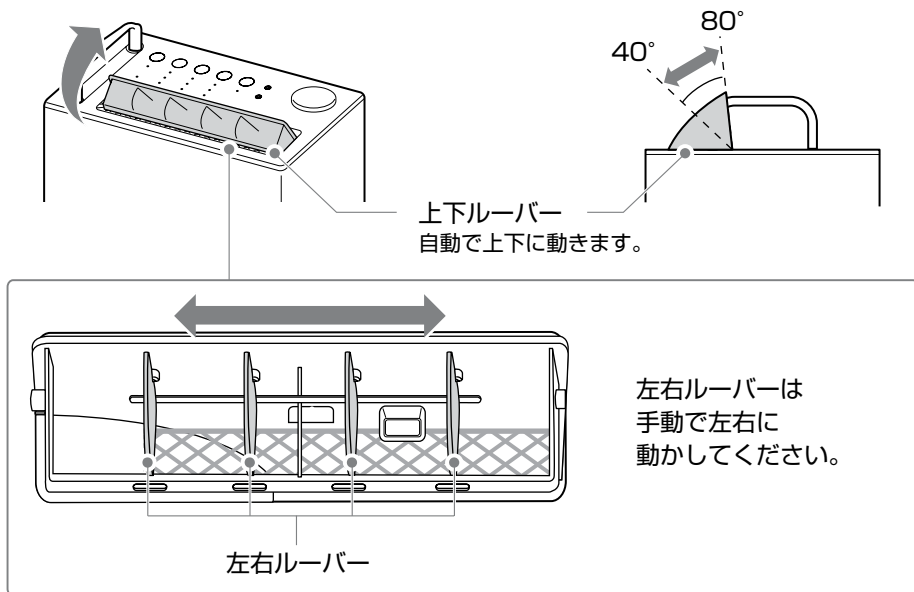
初めてご使用になる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、ピースガードタンクを本体に取り付けたときに、本体内部の噴霧ユニット部にもピースガードを補給するため、液剤をより多く消費します。

## 風向を変える

スイングボタン  を押す。


上下ルーバーが徐々にスイングを開始し、風の吹く方向が自動的に変わります。(約 40°～約 80°)  
好きな角度のところでスイングボタンを押すと、その角度で上下ルーバーが固定されます。  
(調整可能角度は、下の図を参照してください。)

内部にある左右ルーバーは、手動で左右に向きを変えることができます。4つの左右ルーバーは、すべて連動して動きます。



上下ルーバー内部には物を入れないでください。故障の原因になります。

## インジケーターの明るさを調整する

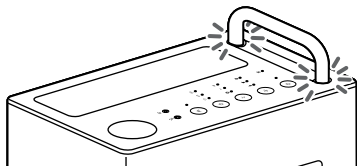
インジケーター明るさ調整ボタン  を押すとインジケーターの明るさを調整できます。明るめと暗めの2種類の明るさから選んでください。

## 自動運転停止機能

切り忘れ防止のため、すべてのモードにおいて運転開始から約12時間が経過すると、自動的に停止します。(ピーという音がすると同時に運転が停止し、電源インジケーターとタイマーインジケーターのすべてが点滅します。)

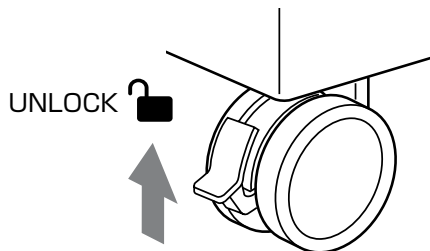
## 排水のめやす

排水タンクが満水になったら、運転が停止し、ハンドル部の満水インジケーターが赤く点滅します。「排水のしかた」⇒ p.16 に従って排水タンクの水を捨ててください。



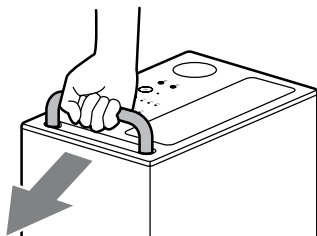
## 移動する

1. 運転を停止し、電源プラグを抜きます。
2. 排水タンクの水を捨てます。  
本体に水が残っていない状態にしてください。
3. キャスターのロックを解除します。  
排水タンク下部のキャスター(2つ)はロックできます。  
カチッと音がするまでロックレバーを上げ、キャスターのロックを解除します。

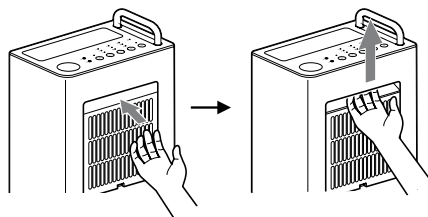


**!** キャスターのロックを解除せずに移動しないでください。床が傷ついたりキャスター破損の原因になります。

#### 4. 設置したい場所に移動します。



ハンドルをにぎり、キャスターで移動することができます。

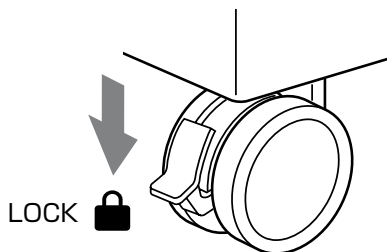


持ち運ぶ場合は、取っ手に手を差し込み、持ち上げて移動してください。



- ハンドルは固定式であり、引き上げることはできません。
- ハンドルを持って本体を持ち上げないでください。
- 電源コードを引っ張って、移動しないでください。
- 移動するときは、電源コードがキャスターに巻き込まれないようご注意ください。
- 本体を傾けて移動すると水漏れや床を傷つける原因になります。4つのキャスターが床面に接地した状態で移動してください。

#### 5. ロックレバーを下げ、キャスターをロックします。





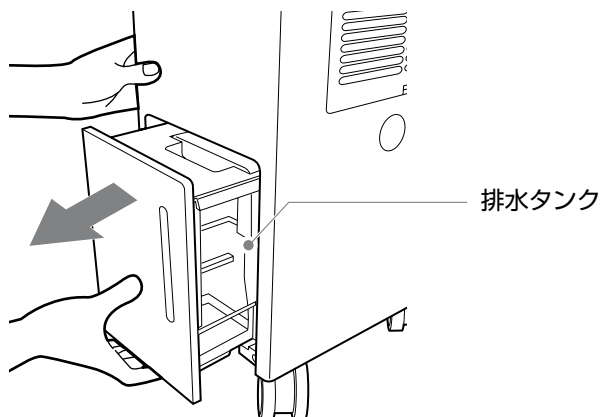
# 排水のしかた



- 排水タンクは必ず取り付けてください。排水タンクがセットされていないと、運転を開始しません。
- 排水タンクは、本体にしっかりと差し込み、確実にセットしてください。
- 排水タンクは、力強く中に押し込まないでください。破損するおそれがあります。

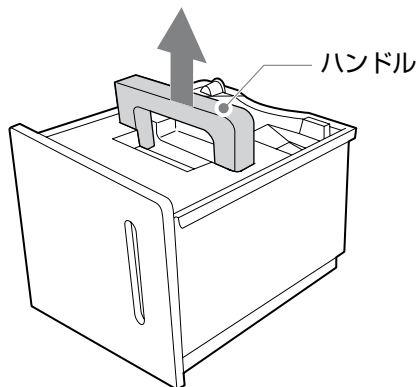
## 排水タンクの水を捨てる

1. 排水タンクの下に手を差し込み、排水タンクを引き出し、排水タンクを取り出します。  
(ハンドル部の満水インジケーターが赤く点滅し、自動的に運転を停止します。)

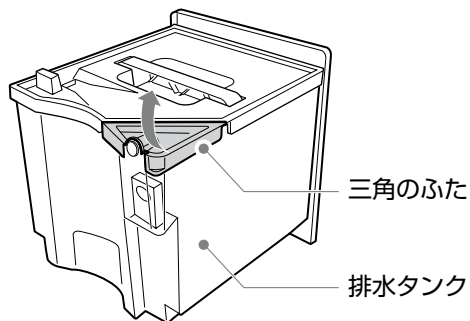


- 排水タンクを引き出すときは、本体を押さえながら、ゆっくり水平に引き出してください。本体内部に水が漏れるおそれがあります。

2. ハンドルを上引き出し、持ち運びます。



3. 排水タンクの三角のふたを開け、水を捨てます。



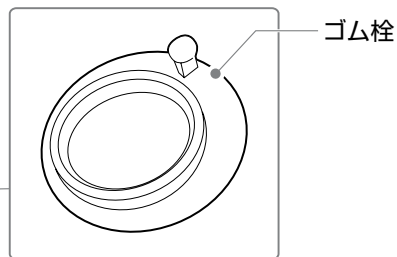
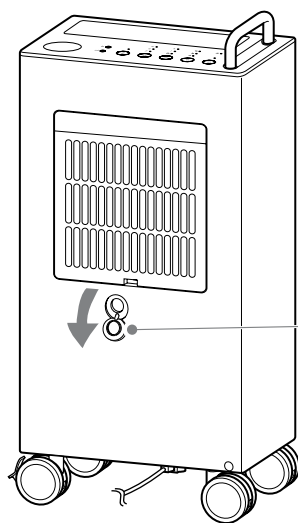
4. 三角のふたをきちんと閉じ、排水タンクを本体にセットします。  
満水インジケーターが消灯し、運転を再開します。

## ホースを使って連続排水する

市販のホースを使って連続排水することができます。

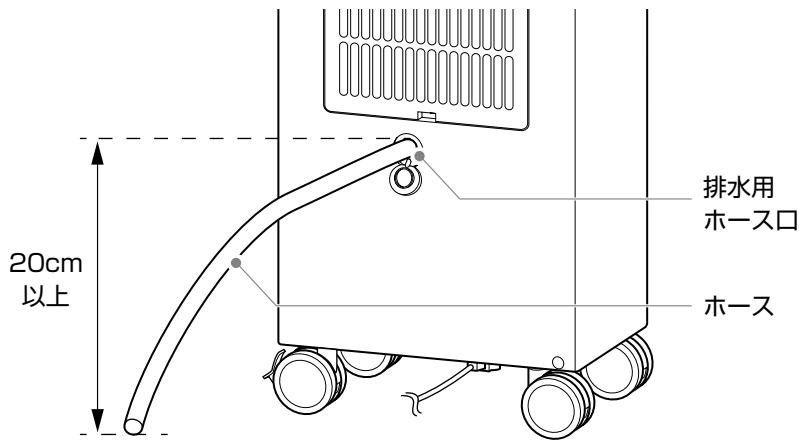
**!** 市販のホースは内径 12mm、外径 16mm のものをご使用ください。

1. 排水タンクを本体にセットします。
2. 背面のゴム栓を開けます。



**!** 背面のゴム栓を開けるときは、紛失を避けるため、ゴム栓の突起部分を抜かないでください。

3. ホースを排水用ホース口にしっかり差し込みます。  
ホースは必ず排水用ホース口より低く、先端は 20cm 以上低い位置になるように設置してください。

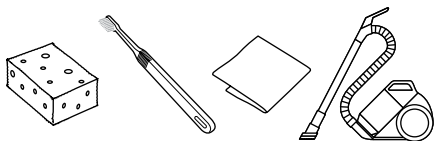


- ホースは確実に差し込んでください。しっかり差し込まないと、本体内部に水が漏れ、故障するおそれがあります。
- 口が広がっているホースは使用しないでください。本体内部に水が漏れるおそれがあります。
- 排水用ホース口から外に出ているホースは折り曲げないでください。
- ホースは氷点下にならない場所でご使用ください。ホース内の水が凍結し、本体内部の水が外に漏れるおそれがあります。

# お手入れのしかた

- お手入れをせずに使用を続けると、ほこりなどがたまり、除湿機の性能を十分に発揮できなくなる可能性があります。定期的にお手入れを行ってください。  
(排水タンク：週1回以上 / 本体・その他：2週間に1回以上を推奨)
- 定期的なお手入れが行われない場合、汚れなどによる故障発生時に、メーカー保証対象外になることがあります。

市販のスポンジ、やわらかいブラシ、やわらかい布、掃除機などを用意すると便利です。



しつこい汚れには水で薄めた中性洗剤を使用してください。



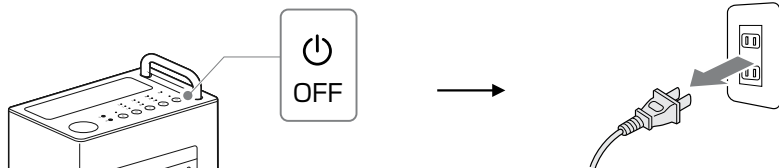
- 中性以外の洗剤は使用しないでください。  
本体を傷つける可能性があります。
- 洗浄後はきれいな布などで中性洗剤を十分に落としてください。



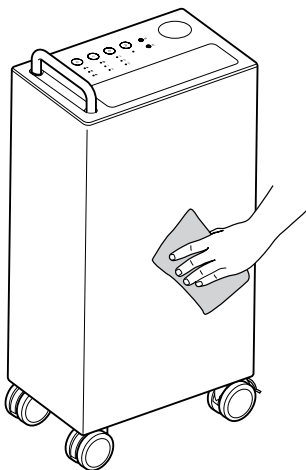
硬いブラシは使用しないでください。本体を傷つける可能性があります。

## 本体 / 排水タンク

1. 本体の電源をオフにして電源プラグを抜きます。



2. 乾いたやわらかい布、または固くしぼった布で本体のほこりをふき取ります。

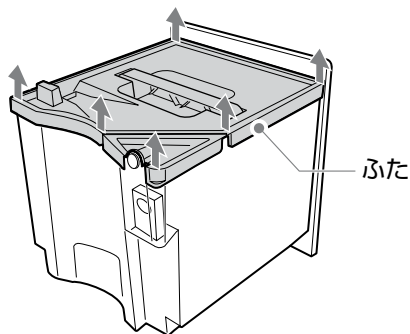


❗ 本体を直接水につけて洗わないでください。

3. 排水タンクを取り出し、水を捨てます。  
「排水タンクの水を捨てる」⇒ p.16 を参照してください。

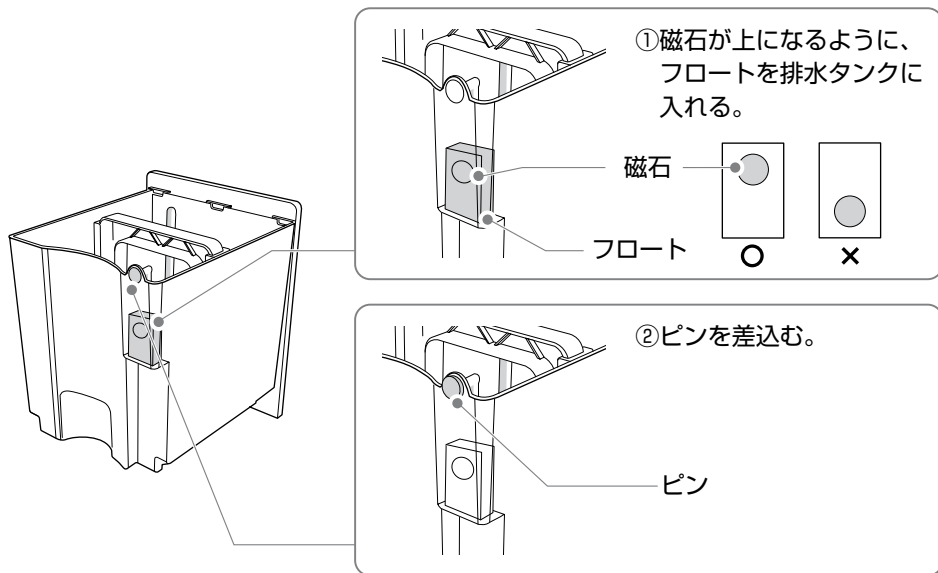
❗ タンクが汚れると、カビや雑菌が繁殖し、ニオイの原因になります。

4. 排水タンクのふた全体をはずし、台所スポンジなどを使って洗い、十分にすすぎ、やわらかい布で水分をふき取ります。



5. フロートが正しくセットされているか確認してください。  
排水タンクに水がたまると、フロートが浮き上がり、水位が検知されます。  
お手入れ中にフロートがはずれた場合は、フロートを図のような向きに入れ①、ピンを差し込みます②。

- ❗ フロートの向きを間違えると水漏れの原因になります。
- ❗ フロートを破損しないようご注意ください。



6. 排水タンクにふたを取り付けます。

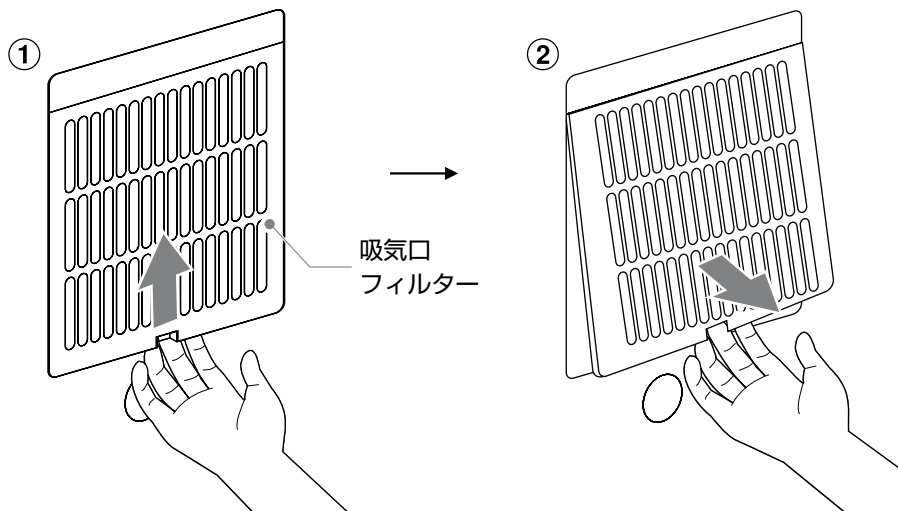
- ❗ 水漏れしないよう、しっかりとふたを閉じてください。

## ピースガードタンク

1. 「ピースガードを入れる」⇒ p.5 を参照してピースガードタンクをはずし、タンクキャップとタンク内部を水洗いします。
2. やわらかい布で水分をふき取ってください。

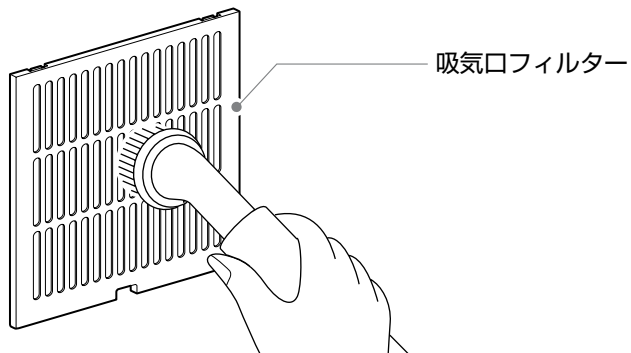
## 吸気口フィルター

1. 吸気口フィルターをはずします。  
指をフィルターの下に差し込み、上に押し上げ(①)、吸気口フィルターを外側に引いてください(②)。



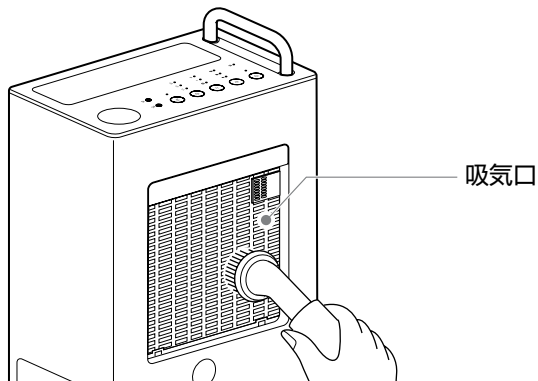


2. 掃除機でフィルター両面のホコリを吸い取ります。



**!** 汚れがひどいときは、以下の方法で掃除してください。  
台所用合成洗剤を薄めた水にフィルターを約 10 分間漬け、しっかりとすすいだ後、陰干ししてください。





3. 掃除機で本体吸気口のホコリを吸い取ります。



## 排水用ホース口 / ホース

本体背面の、排水用ホース口、ゴム栓を掃除してください。  
また、ホースが詰まっている、折れ曲がっているなどの異常が無い点検してください。

## 長期間使わないとき

1. 本体内部を乾燥します。  
ピースガードが無い状態で除菌・消臭モード  で運転すると、本体内部を乾燥できます。  
「ピースガードを入れる」⇒ p.5 を参照してピースガードタンクの液体を捨て、  
ピースガードタンクを本体に戻してから、モードボタンで除菌・消臭モード  、  
風量ボタン  で自動  を選択し、2 時間以上運転してください。
2. 排水タンクの水を捨て、排水タンクと本体のお手入れをします。  
「排水のしかた」⇒ p.16 「お手入れのしかた」⇒ p.20 を参照してください。
3. ポリ袋などを本体にかぶせ、直射日光が当たらない、乾燥した場所に保管してください。

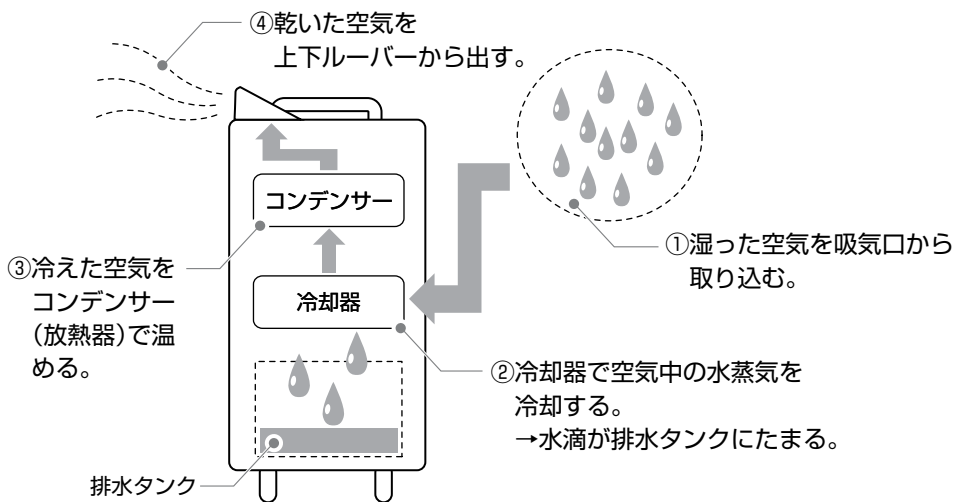


外出時や長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

# 除湿機能について

## 本機のしくみ

湿気を多く含む温かい空気が冷たいものの表面に触れると、水滴が生じます。この現象を利用し、本機に取り込まれた(湿気を含む)空気を冷却器に当て、水分を取り出すことにより、除湿します。



- ❗ 本機にはエアコンのような冷房機能はありません。
- 運転中には熱が発生します。そのため、ご使用環境によっては、室温が約 2℃～5℃上がる場合があります。
- 環境によっては、湿度を 55%～60%に維持できないことがあります。

## 使用時の室温について

温度が約 5℃～35℃のお部屋で使用してください。

以下の場合、本体内部のコンプレッサー(圧縮機)が停止し、送風運転になります。

1. 室温が約 5℃以下のとき  
排水タンクの水が凍結するのを防ぐため、送風運転となります。  
(除湿モード、衣類乾燥モード)
2. 室温が約 35℃以上のとき  
本体への負担を避けるため、送風運転となります。  
(除湿モード、衣類乾燥モード)

## 霜取り機能

本体周辺温度が約 15℃以下になると、本体内部に霜が付くことがあるため、自動的に霜取り(送風運転)をします。

約 45 分に 1 回、約 10 分間コンプレッサー(圧縮機)が停止し、風量強で送風運転します。お部屋の温度が低いときは、1 回あたりの停止時間が長くなります。

(作動中は霜取りモードインジケータ  が点灯します。

# 故障かな？

症状	確認事項	対処
除湿しない 除湿量が少ない 風が出ない	吸気口フィルターや吸気口、または上下ルーバーがふさがっていませんか？	吸気口フィルターや吸気口、または上下ルーバーをふさがないようにご注意ください。 また、汚れている場合は、お手入れをしてください。
排水タンクに水がたまらない	お部屋の構造やご使用環境、室温や湿度をご確認ください。	一般的に低い室温や低い湿度のときは除湿量が少なくなり、排水タンクに水がたまらないことがあります。
湿度が下がらない 衣類が乾かない	除湿モード、衣類乾燥モード運転中のお部屋の室温や湿度をご確認ください。	約 5℃以下： 本体内部凍結予防のため、自動的に送風運転になります。  約 35℃以上： 保護装置がはたらき、自動的に送風運転になります。  約 15℃以下： 霜取り機能 ⇒ p.27 で自動的に送風運転になります。  お部屋の環境によっては 50%以下の低湿度に維持することはできません。

症状	確認事項	対処
ピースガードが噴霧されない	ピースガードインジケータ ーは点灯していますか？	除湿モード、衣類乾燥モードで 運転中の場合は、ピースガード ボタンを押すことでピースガ ードが噴霧されます。
	本体が傾いていたりしません か？	噴霧を安定させるため、水平で 安定した場所に設置してくだ さい。
	ピースガードがなくなってい ませんか？	ピースガードが少なくなると、 ピースガードインジケータ ーが点滅します。ピースガードを入 れる⇒ p.5 の手順に従いピー ズガードを補充してください。
	お部屋の環境をご確認ください。	室温や湿度によってはピース ガードの噴霧が見えないこと があります。
運転しない  ハンドル部の満水イン ジケータが点滅する	排水タンクが満タンになっ ていませんか？	排水のしかた⇒ p.16 に従い 排水タンクの水を捨ててくだ さい。
	排水タンクは正しく取り付け られていますか？	排水タンクを正しく取り付け てください。
	フロートは正しく取り付けら れていますか？	お手入れのしかた⇒ p.20 に 従い、正しくフロートを取り付 けてください。

症状	確認事項	対処
<p>運転が停止する</p> <p>電源インジケータ とタイマーインジ ケータのすべて (1h/4h/8h)が点滅す る</p>	<p>運転開始から、操作をせずに 12時間が経過しましたか？</p>	<p>自動運転停止機能⇒ p.13 に より運転を停止しました。 もう一度電源ボタンを押して 運転を再開してください。</p>
<p>音が大きい</p>	<p>室温が低すぎませんか？</p> <p>安定した場所に設置していま すか？</p> <p>吸気口フィルターや吸気口、ま たは上下ルーバーがふさがっ たり、汚れたりしていませんか？</p> <p>排水タンクは正しく取り付け られていますか？</p>	<p>低い室温のときに運転すると、 数秒間音が大きくなること があります。 (使用条件により音が大きくな る期間は変わります。)</p> <p>振動の無い、水平で安定した場 所に設置してください。</p> <p>吸気口フィルターや吸気口、ま たは上下ルーバーをふさがな いようご注意ください。 また、汚れている場合は、お手 入れをしてください。</p> <p>排水タンクを正しく取り付け てください。</p>
<p>風量が安定しない</p>	<p>自動モードで運転していませ んか？</p>	<p>風量を自動に設定していると、 各モードに応じて最適の風量 に自動的に切り替わります。</p>

症状	確認事項	対処
温かい風が出る 室温が高くなる	除湿モード、衣類乾燥モードで 運転していませんか？	除湿運転中は熱を発生します ので、上下ルーバーから温かい 風が出ます。 (除湿機能について⇒ p.26 )
水が漏れる。	本体が傾いていたりしません か？	水平で安定した場所に設置し てください。
	排水タンクは正しく取り付け られていますか？	排水タンクを正しく取り付け てください。
	フロートは正しく取り付けら れていますか？	お手入れのしかた⇒ p.20 に 従い、正しくフロートを取り付 けてください。
	排水ホースは正しく取り付け られていますか？	ホースを使って連続排水する ⇒ p.18 に従い、正しく排水ホ ースを取り付けてください。
本体のニオイが気にな る	本体内部が汚れていません か？	お手入れのしかた⇒ p.20 に 従い、本体をお手入れしてくだ さい。また、定期的に長時間使 わないとき⇒ p.25 の手順に したがって、本体内部を乾燥す ることをおすすめします。



# 仕様

## ROOT<sub>7100</sub>

型名	DH-C7100		
電源	100V 50 - 60Hz		
電源周波数 <sup>*1</sup>	50Hz の場合	60Hz の場合	
定格除湿能力(L/日) <sup>*2</sup>	6.5	7.5	
除湿可能面積の目安	木造住宅	8畳(14m <sup>2</sup> )	9畳(16m <sup>2</sup> )
	コンクリート住宅	16畳(27m <sup>2</sup> )	19畳(31m <sup>2</sup> )
消費電力(W)	除湿(強) 室温 35℃/湿度 90%	210	235
	除湿(強) 室温 27℃/湿度 60%	170	187
	衣類乾燥 室温 27℃/湿度 60%	172	189
	除菌・消臭(強)	35	38
運転音(dBA)	除湿(強)	45	45
	衣類乾燥	48	48
	除菌・消臭(強)	47	47
待機時消費電力(W)	0.4	0.4	

冷媒フロン類	R134a
外形寸法(mm)	幅 327 × 奥行 207 × 高さ 682
重量 (kg)	約 12
電源コード長(m)	約 1.8
ピースガードタンク 容量(mL)	約 90
排水タンク容量(L)	約 3.5
付属品	取扱説明書、安全上のご注意、保証書
消耗品	ピースガード PG-L800

- ※1 50Hz、60Hz いずれの地域でもご使用になれます。
- ※2 除湿モード(風量強)で運転し、室温 27℃、相対湿度 60% を維持し続けたときの1日あたりの除湿量です。

本製品は国内専用です。電源や法規制の異なる海外では使用できません。

国外に持ちだされた製品は、保証期間内であっても修理サービスの適用外です。

This product is for domestic use only and cannot be used in any other country with different voltages, frequencies, laws and regulations.

The warranty is only valid in the country the product was purchased and the product brought outside the country is not eligible for warranty repair services.

製品に関する最新情報  
使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

カドーサポートサイト

<https://cado.com/jp/support/>



お電話での対応をご希望のお客様は

カドーサポートセンター

**0120-707-212**

通話料無料 受付時間 9:00 ~ 17:00  
土・日・祝、弊社休業日を除く

**株式会社カドー**

〒108-0071 東京都港区白金台4-2-11



cado

取扱説明書

安全上のご注意

DH-C7100

Dehumidifier

ROOT 

7100

# 安全上のご注意

## 本書について

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項について記載してあります。ご使用前に、この「安全上のご注意」と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

## 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を未然に防止するため、本書に記載されている内容は必ずお守りください。誤った取り扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を区分したうえで記載しています。

### 表示の説明



**警告**

「死亡または重傷を負うおそれがあること」を示します。



**注意**

「傷害を負う、または財産に損害を与えるおそれがあること」を示します。

### 図記号の説明



**禁止**

「してはいけない禁止事項」を示します。



**指示**

「必ずしなければならない強制事項」を示します。

# 警告

## 禁止

---

- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。**  
感電の原因になります。
- **電源コードを破損させない。**  
ショートや断線による火災や感電の原因になります。
  - 加工したり、傷つけたりしない。
  - 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重い物を載せたりしない。
  - 熱器具に近づけたり、加熱しない。
  - 電源プラグを持たずに引き抜かない。
  - 持ち運び時に電源コードを引っ張らない。
- **定格電圧以外で使わない。**  
火災や感電の原因になります。
- **コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない。**  
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
- **分解、改造、修理しない。**  
水漏れ、火災、感電、ケガの原因になります。  
修理はお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- **下記の場所では使用しない。**
  - 発熱器具の近く、可燃性ガスや金属製のほこりがある場所。  
引火や本体への吸引による火災の原因になります。
  - 浴室など、高温多湿、水のかかる場所。  
漏電による火災や感電の原因になります。
  - 塩分の多い場所(海浜地区など)、硫化ガスの多い場所(温泉地区など)  
腐食やサビによる故障の原因になります。
  - 機械油や食用油の油成分が浮遊している場所。  
本体に悪影響をおよぼし、水漏れや感電、故障、ケガの原因になります。
  - 薬品を扱う場所(病院、工場など)。  
薬品の影響により本体が劣化し、水漏れや故障・火災の原因になります。
  - 人や動植物に直接風が当たる場所。  
体調不良や悪影響をおよぼす原因になります。
- **水につけたり、水をかけたりしない。**  
火災や感電の原因になります。
- **火のついたタバコや線香、引火性のある危険物(スプレー缶など)を近づけない。**  
火災の原因になります。

# 警告

## 禁止

---

- 上下ルーバー、吸気口、本体のすき間などに指や金属物など異物を入れない。  
火災、感電、ケガ、ショートの原因になります。
- お手入れに塩素系、アルカリ性の洗剤を使わない。  
洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害するおそれがあります。
- 雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグには触れない。  
感電のおそれがあります。

- ピーズガードタンクには、  
ピースガード<sup>※1</sup>以外の液剤は入れない。  
酸性タイプの製品をピースガードに混ぜると有毒ガスが発生する危険があるため、併用・混合しない。<sup>※2</sup>
- ※ 1：除菌・消臭剤ピースガードは株式会社ピースガード社の登録商標です。
- ※ 2：ピースガードの保管や使用上の注意に関してはピースガードの注意事項をご参照ください。



# 警告

## 指示

---

- 電源プラグは、根元までしっかり差し込む。  
差し込みが不完全だと、火災や感電の原因になります。
  - 電源コードや電源プラグが傷んだり、差し込みがゆるいコンセントは使わない。
- 電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布でふき取る。  
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。
- 使用しないとき、お手入れ、点検、移動の際は必ず運転を停止し、排水タンクの水を捨て、電源プラグを抜く。  
不意に動作した場合、水漏れや感電、ケガの原因になります。
- 異臭や、機器の異常を感じたときは、使用をただちに中止する。  
電源プラグを抜き、サポートセンターまでご相談ください。
- お年寄り、お子様、体の不自由な方、意思疎通が困難な方には、保護者や安全責任者から適切な指導監督を受けない限り、単独で使用させない。
- お子様が玩具として遊ばないように注意する。  
思わぬケガや誤飲、本体故障または感電の原因になります。

# 注意

## 禁止

---

- 本体の上に物を置いたり、乗ったりしない。

転倒により、水漏れ、破損、ケガ、故障の原因になります。

- 不安定な場所、高いところには置かない。

転倒、落下すると、感電やケガ、故障の原因になります。

- 上下ルーバーや吸気口をふさがない。

空気の循環が悪くなり、火災の原因になります。

- 直射日光の当たる場所、エアコンや暖房器具の風の当たる場所には置かない。

本体の変形や変色、故障の原因になります。

- お手入れの後は、水分を十分にふいてから乾かし、ぬれたままでは使わない。

感電やケガの原因になります。

- アルコール、シンナー、ベンジンでふいたり、殺虫剤などをかけたりしない。

ひび割れや感電、引火の原因になります。

- 発煙タイプの殺虫剤を使うときは、運転しない。

蓄積した薬剤成分が、あとで使ったときに放出され、健康を損なう原因になります。

- テレビやラジオの近くでは使わない。

映像の乱れや雑音の原因になります。(テレビやラジオからは、1m以上離して設置してください。また、これらの機器と一緒にコンセントに電源プラグを差し込むと、映像の乱れや雑音が発生することがあります。その場合は、別のコンセントに電源プラグを差し込んでください。)

- 除湿した水を飲んだり飼育・栽培用に使わない。

体調不良や悪影響をおよぼす原因になります。

- 狭い場所(家具のすき間やクローゼット)で密閉した空間で使用しない。

火災や故障の原因になります。

- 排水用ホースを折り曲げたり排水タンクのプロートをはずしたまま使用しない。

運転し続けると水漏れ、感電、漏電の原因になります。

# 注意

## 禁止

---

### ■ 長時間、同じ場所で使わない。

長時間同じ場所で使うと、本体周辺の壁や床が汚れることがあります。  
定期的に設置場所を移動することをおすすめします。

### ■ 長時間、木製の床や家具などの上に直接置かない。

長時間同じ場所に置くと、本体底面のキャストの跡が設置面に残ることがあります。  
設置場所を定期的に変更するか、または市販の家具用傷防止シートなどを使用してください。

### ■ 下記の場所では使用しない。

- 物が落下するおそれのある場所。  
物が置いてある棚などの下では使わない。  
思わぬ事故や故障の原因になります。
- ピースガードが家具、壁、カーテン、天井、電気製品などに直接当たる場所。  
湿気によるしみ、変形、故障の原因になります。
- 電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多い場所。  
正常に動作しないことがあります。

### ■ 移動するときは、本体からはずれる部分を持たない。

落下によるケガや故障の原因になります。

### ■ 凍結するおそれのある場所に設置しない。

正常に動作しなくなるおそれがあります。  
水漏れ、火災、感電、漏電の原因になります。  
凍結のおそれがあるときは、本体内部のピースガードと水を捨ててください。

# 注意

## 指示

---

- 本体を移動する前に、運転を停止し、電源プラグを抜く。  
思わぬ事故や誤作動、故障の原因になります。

- 本体を移動する前に、必ず排水タンクの水を捨てる。  
排水タンクの水がこぼれ、水濡れ、感電、故障の原因になります。

製品に関する最新情報  
使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

カドーサポートサイト

<https://cado.com/jp/support/>



お電話での対応をご希望のお客様は

カドーサポートセンター

**0120-707-212**

通話料無料 受付時間 9:00 ~ 17:00  
土・日・祝、弊社休業日を除く

**株式会社カドー**

〒108-0071 東京都港区白金台4-2-11

